

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 29 年度)

施設の名称	東大阪市立市民ふれあいホール	指定期間	25年度～	29年度
施設所管課	社会教育部青少年スポーツ室	指定の方法	複数施設を一括指定管理	
設置目的	市民文化の向上発展を図り、教育文化及びスポーツ活動に供するため。			
施設内容・業務内容等	施設管理、運營業務、空調機精密点検、エレベーター点検、調光設備点検、ピアノ保守点検、植栽業務、清掃業務。			
指定管理者	藤本実業・アサヒファシリティーズ共同企業体	連絡先	館長 山尾 勝 072-982-1381	
人員体制	正規職員	1	人	パート・アルバイト
				4
				人
			その他	人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
管理形態					
供用(開館)日数	305	308	304	307	306
指定管理委託料(千円)	12,340	12,225	12,145	11,961	協議中
利用状況	1 例:年間利用者数(人)	73,703	77,763	72,283	補足説明
	2 例:利用登録団体数(団体)	135	148	139	補足説明
	3 例:スポーツ教室参加者数(人)	8,822	7,777	6,956	補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	施設の設置目的を十分に理解することはもとより、指定管理者として平等、かつ公平な施設運営を行い、スポーツ、レクリエーション活動を促進し、健康増進を図っている。 また、「楽しく安全に利用していただく」という目標のもと、日常の安全点検はもちろん、災害等発生時の危機管理についても、十分な対策を行っている。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	施設管理や運営に必要な人材を適材適所に配置し、経費の削減に努めるなど効率的な運営を行っている。 また、快適な利用環境を目指して、修繕・清掃・衛生管理・防犯対策に至るまで、きめ細かく対応している。 必要な少額の補修は指定管理者側で適宜実施していただきたい。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	全ての利用者が「楽しく安全に利用」できるよう、窓口や電話対応などの接遇や案内表示等には細心の注意を払っている。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	アンケートや窓口等でいただいた来館者からの意見について、的確にかつ速やかに対応し、満足度の向上に努めている。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	日常の利用以外にも自主事業において各種教室に参加していただき健康な体力づくりを目指している。 また、施設の管理や事業の企画において、日ごろから職員間で話し合いを行い、改善や向上、経費の削減に取り組んでいるが、もう少し工夫していただきたい。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	関連条例・規則等の理解・遵守のため、朝礼・会議・研修などで折に触れて意識向上を図っている。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	施設管理において、質の向上及び経費の削減に取り組んでいることを評価したい。危機管理については、様々な災害や事故が予想されるので普段から東消防署と連携を図り、利用者の安全を最優先した管理運営をお願いしたい。